

第7回 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会の
これからの考える委員会 会議録

日時 令和元年11月29日(金) 午後1時30分から午後4時00分まで

場所 茨城県総合福祉会館2階 ボランティア会議室

出席者 7名

- ・ 県北支部 菅野 秀行 (支部長：日立市)
佐藤 和宏 (代議員：高萩市)
- ・ 那珂支部 浅野 健一 (職連協会長・支部長・理事：那珂市)
- ・ 中央支部 菊池 みか (支部長・理事：水戸市)
- ・ 鹿行支部 遠峯 茂 (支部長：鹿嶋市)
- ・ 県西支部 柴田 優 (支部長：常総市)
- ・ 稲北支部 清水 昌樹 (支部長・理事：牛久市)
- ・ 事務局 中村 英一 (県社協福祉のまちづくり推進部部長)
篠原 嘉 (県社協福祉のまちづくり推進部推進員)

欠席者 6名

- ・ 那珂支部 大宮 武富 (代議員：ひたちなか市)
- ・ 中央支部 大平 徳子 (理事：大洗町)
- ・ 鹿行支部 野口 桂子 (代議員：行方市)
- ・ 県南支部 岡崎 博之 (職連協副会長・理事：石岡市)
中村 真聡 (代議員：かすみがうら市)
- ・ 県西支部 仁平 直美 (代議員：筑西市)

1. 開会 事務局 篠原推進員

2. 挨拶 柴田委員長

3. 議事録作成者決定 稲北支部 清水 昌樹 (支部長・理事：牛久市)

4. 協議事項

報告書素案の検討について

○過去の委員会で作成した報告書を参考に、本報告書の文体は「ですます調」に統一する。

第1章 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会のこれからの考える委員会の設置の背景

○「社協マン」という表記をやめ、文言を削除する。

第2章 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会の現状

1 職連協の組織目的

2 職連協の必要性

○「社協マン」という表記をやめ、文言を削除する。

第3章 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会のこれからの取り組み

1 職連協の周知

○最終段落「議論していきたい」という表記を「議論していく必要がある」に訂正。

2 職連協の位置づけ

3 職連協の必要性

○最終行「進めていくものとする」という表記を「進めていく必要がある」に訂正。

4 職連協に求められる事業

5 運営・執行体制を明確

第4章 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会のこれからの方向性

①計画目的

○第2項目⇒文頭に「事業の検討にあたっては」を加筆し、「協議会を設置し」という表記を「協議の場を設け」等に訂正。

④具体的な実施内容

○1年目の第1項目1行目⇒「協議会を設置し」という表記を「協議の場を設け」等に訂正。

○2年目3年目の第3項目具体的な取り組みの実施の2行目「職連協単独」の文言を削除する。

○4年目の第1項目2行目末⇒「会費」に関しては1年目での検討となるため、「会費」を削除し、1年目の項目に「会費の検討」を加筆する。

第5章 資料

○資料の中に実施したアンケートの単純集計・クロス集計・意見を含めアンケート結果を全部掲載する。



※以上の検討を踏まえて、報告書の構成を以下のとおり再構成する。

第1章 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会のこれからのを考える委員会の設置の背景

第2章 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会の現状と課題

第3章 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会のこれからの取り組みの方向性と計画

⇒第3・4章を統合する。

第4章 資料

今回は、構成し直した報告書を協議・検討を行い完成させ、職連協理事会及び事務局長会における説明を図れるようにする

※次回委員会は、令和2年1月10日（金）午後1時30分より開催する。

5. 閉会 柴田委員長